

ふりがな 氏名	たかはら れいな 高原 麗奈	都道府県	大阪府	
所属/肩書	NPO 法人箕面こどもの森学園 専任スタッフ			
私のESD活動	学習者の主体性と協働をはぐくむ学びを目指して ～箕面こどもの森学園での実践～			
ESD活動を 表すキーワード	主体性	協働	多角的な視点	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は2013年よりNPO法人箕面こどもの森学園で、ESD活動に携わってきました。学園では、持続可能な社会の実現に向けて『子どもたちの主体性、協力し行動すること、多角的な視点で自ら考え判断すること』などESDの要素を学びの中心に据え活動を行っています。

『子どもたちの主体性を育む』活動として、子どもたち自身で学習計画をたて、自己選択・決定の経験を重ねることにより、学びは自分自身のためにあるという主体性の育成を目指しています。

また『協力し行動すること』は、全校集会で学校行事やルールを決めること、トラブルが起こった時に子どもたち同士で話し合いをすることなど、学校のコミュニティのなかで協力して行動する経験の積み重ねを大切にしています。また、話し合いの場では、多数決でなく全員が納得できる意見がでるまで議論を行います。これらのことにより、自分の意見を表現すること、異なった立場・意見の人を理解するを経験し、他者と折り合いをつけながら学校生活を営むことを通して協力し行動する姿勢の育みを行っています。

『多角的な視点で自ら考え判断すること』は、平和・人権・環境・市民性教育などの分野で行うテーマ学習で、子どもたち自身が社会のできごとや課題との関わりを実感しながら学ぶ参加型学習を通して育んでいます。このテーマ学習では知識を受け取るだけではなく、本物に触れ体験し、様々な角度から考え本質を見抜く視点を大切にしています。

これらの取り組みの成果として、「主体的に学ぶ姿勢」や、「みんな違って当たり前」という多様性を認める雰囲気醸成されていることが、子どもたちが見せてくれている成長と学園の活動による変化の一つだと感じています。

・NPO法人箕面こどもの森学園 HP <http://kodomonono-mori.com/>

・NPO法人箕面こどもの森学園 中学部ブログ <http://kodomonono-mori.com/chugakubu/blog/>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

現在のESD活動をさらに深めるために、子どもたちが地域、社会、世界との関わりとの中で有機的に学ぶことができる環境作りを進めたいと思っています。学校の中だけでなく地域社会に出かけ、様々な方と出会い、体験することを通して、子どもたちが生きた社会のなかで社会のできごとや課題を考えることができる学び場づくりをしたいと思っています。また今年の1月に学園がESDを推進するユネスコスクールへの加盟に承認されたこともあり、今後は日本と世界のユネスコスクールのネットワークを活かし、子どもたち同士が交流しながらお互いの国や文化などの理解を深めることができる機会づくりができればと思っています。また学習者の主体性を引き出すファシリテーションについて、さまざまな現場で教育に関わる方々と、実践をともに学び、共有していきたいと思っています。